

色即是空 空即是色

守徳寺かわら版

編集
曹洞宗
守徳寺

一つには、功の多少を計り、彼の来処を量る

（多くの人の苦勞を思い感謝していただきます）

二つには、己が徳行の全欠をはかつて供に応ず

（自分の行いを反省し静かにいただきます）

三つには、心を防ぎ過を離るることは貪等を宗とす

（好き嫌いをせず欲張らずに味わっていただきます）

四つには、正に良薬を事とするは形枯を療ぜんが為なり

（健康な身体と心を保つため良薬としていただきます）

五つには、成道の為の故に今此の食を受く

（円満な人格完成のため合掌していただきます）

尊い命に感謝

（五観の偈）

禅宗のお寺や修行寺などでは、食事をする際、上記の偈文（簡単なお経）を唱えます。仏教では殺生を戒めています。食事という殺生を懺悔し、いただいた命に感謝します。今回はそんな意味を込めた「五観の偈」というお経を紹介しました。

一粒のお米に一つの生命があります。一膳のご飯にも何千もの生命が宿っています。食事をいただく前、一度「五観の偈」をお唱えしてみたいかがですか？食事に對する心が少し変わるかも知れません。

天満大自在天神 （学問の神を祀る）



守徳寺本堂前にひっそりとした御堂があります。それは学問の神様を祀っている天神様の御堂です。御堂の扉を開けて中を覗いてみると、二匹のきつねに守られた菅原道真の像が安置されています。道真は五歳にして和歌を詠まれるなど幼いころから聡明で、学問の分野で極めて卓越した才能の持ち主



改修された御堂です

主だつたとされ、天神様（学問の神）として神社で祀られています。守徳寺のこの御堂は、江戸時代の中期〜後期に建てられたようです。来山の際は、是非お参りしてみてください。



菅原道真公

平成二十九年 年回表

一周忌	平成二十八年
三回忌	二十七年
七回忌	二十三年
十三回忌	十七年
十七回忌	十三年
二十三回忌	七年
二十七回忌	三年
三十三回忌	昭和六十年
三十七回忌	五十六年
四十三回忌	五十年
四十七回忌	四十六年
五十回忌	四十三年
百回忌	大正七年

年回にあたっていませんか？
ご仏壇の中のお位牌を見て
みましょう。
法事・塔婆のお申し込みは、
なるべく早目にご連絡下さい。